

※渡辺一平選手は津久見市出身。佐伯鶴城高校から早稲田大学に進みました

① 渡辺選手が今回の快挙にとどまらず、さらに期待されているのはなぜでしょうか。記事中の言葉を使って説明しましょう。

② 記事は渡辺選手のすごさや素晴らしさを詳しく伝えてあります。皆さんがすごいと感じたのはどんなことでしたか？

渡辺「蹴る力」圧巻



競泳の東京都選手権男子200m平泳ぎで、2分6秒67の世界新記録をマークした渡辺一平＝東京辰巳国際水泳場

競泳男子200m平泳ぎで世界新

世界記録を上回る途中、計時に会場は「よめき、した。大会実行委員長の北島康介氏も身を乗り出す。迎えたラスト50m、19歳の若武者はテンポを上げ、力強く水を蹴った。本格的なシーステップに向けた調整段階で渡辺一平（鶴城高 早大）が圧巻

リオ6位の下半身の強化実る 悔しさバネ

み、100mは山口の世大錦は、初出場した昨年界記録を0秒39上回るペースで通過、100～150mは50mほど最後の50mをいずれも32秒台でカバーし、疲れが出た後半も失速しなかった。この悔しさをばねに五輪後は下半身の筋力強化に本腰を入れ、課題は「五輪と比べて60パーセントくらい」というだけだ。北島氏が抱っていた日本男子平泳ぎのイメージを刷新していき、4月の日本選手権や夏の世界選手権でさらなる躍進も期待される。

(2017年1月30日付朝刊スポーツ面)